

うつわの秋

坂倉新兵衛窯
坂倉善右衛門窯
坂田泥華窯
新庄助右衛門窯
田原陶兵衛窯

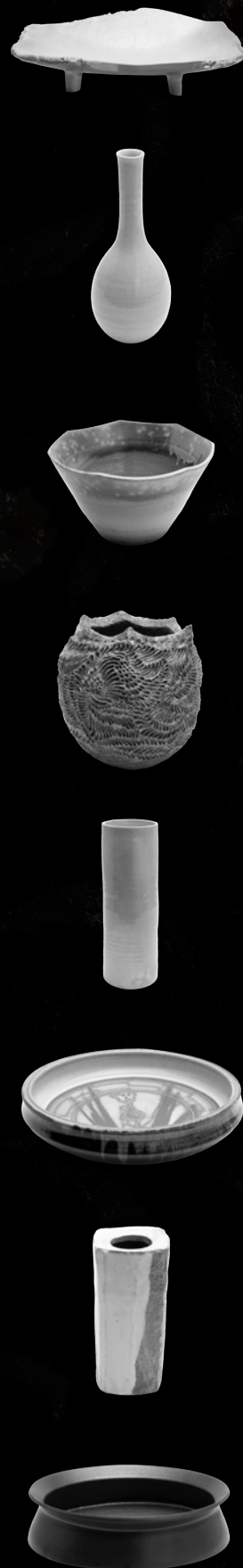
Vol.06

花巡り

2025年10月3日(金)～11月3日(月)

※メイン会場「恩湯」では下記の期間限定にて特別展示を開催します

2025年10月3日(金)～10月14日(火)



長門湯本温泉
NAGATO YUMOTO ONSEN



Vol.06 ～花巡り～

2025年10月3日(金)～11月3日(月)

※メイン会場「恩湯」では下記の期間限定にて特別展示を開催します

2025年10月3日(金)～10月14日(火)

長門湯本温泉では、2020年の温泉街リニューアル以降、「オソト天国」をテーマに、温泉街のそぞろ歩きを楽しめるまちづくりに取り組んでいます。同年に始まった「うつわの秋」は、深川窯の全5つの窯元、8人の作家が温泉街に出展し、三ノ瀬に息づく萩焼文化を温泉街で体験いただける催しで、まちづくりの一環として、温泉街に点在する展示会場や店舗を巡りながら、深川萩の作品や催しを楽しんでいただけるよう、毎年さまざまな試みを重ねてまいりました。第6回目となる本年のテーマは「花巡り」。花司 / Flower Artist・田中孝幸氏をお招きし、三ノ瀬深川窯の里で、深川萩の作家による花器と、土地の草花を組み合わせた特別展示を開催いたします。また、温泉街の各店舗でも、街歩きの中でさまざまな“花の彩り”とともに萩焼の魅力を幅広くお楽しみいただけます。

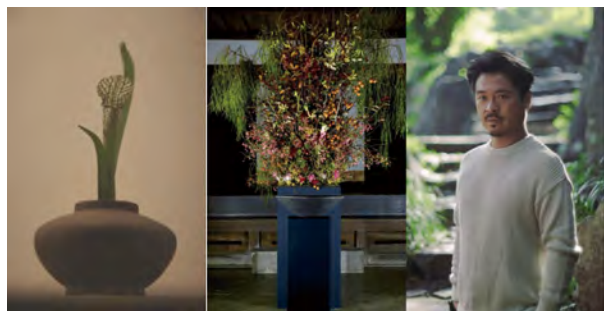
はぎやきふかわがま

萩焼深川窯の歴史と出展作家

萩焼は、豊臣秀吉が朝鮮に出兵した16世紀末、文禄・慶長の役(1592～97)の際、毛利輝元公が朝鮮李朝の陶工李勺光・李敬を招致したことに始まります。その約半世紀後、承応2年(1653年)蔵崎五郎左右衛門が同族の勘兵衛とともに、現在の長門市深川湯本三ノ瀬での独立窯業を願い出て許しを得たのち、赤川助左衛門、同助右衛門一族、最後に李勺光の孫・山村平四郎光俊も移住し、明暦3年(1657年)、「三ノ瀬焼物所」が創業されます。ここから約360年、「三ノ瀬深川窯」は茶陶器として確たる地歩を占めながら発展を遂げています。2020年から開催している「うつわの秋」には、三ノ瀬深川窯の全5つの窯元、8人の作陶家が出展いたします。

坂倉新兵衛窯	坂倉善右衛門窯	坂田泥華窯	新庄助右衛門窯	田原陶兵衛窯
				
十六代 坂倉新兵衛	坂倉一溪	十代 坂倉善右衛門	坂田澄治	十四代 新庄貞嗣
				
新庄紹弘	十三代 田原陶兵衛	田原崇雄		

特別企画 陶の花 ～光は今日もふりそそぐ～



花司 / flower artist 田中孝幸

今回の「うつわの秋」では特別企画として、花司 / flower artist 田中孝幸氏を迎え、深川萩作家とのコラボレーション展示「陶の花」を三ノ瀬公会堂にて開催いたします。本展示は「光」をテーマに、深川萩の作陶表現と田中氏による植物の空間演出を融合させたものです。深川萩作家 十六代 坂倉新兵衛、田原崇雄をはじめとする8名の作家の器に、田中氏が長門湯本、三ノ瀬を訪れた際に受けた土地のイメージや作品に触れた印象をもとに装花し、それぞれの器の魅力を引き出す空間を創出します。

会場：三ノ瀬公会堂(サテライト会場)
会期：2025年10月11日(土)～10月13日(月)
時間：10:00～16:00



takayukitanaka.com

メイン会場とサテライト会場

メイン会場となる「恩湯」では、会期中、深川萩の伝統的な技術・素材による8作家のうつわの特別展示を期間限定で開催いたします。サテライト会場のおとずれ堂、cafe & pottery 音、大谷山荘、玉仙閣の各展示会場では、会場毎に異なった深川萩の魅力を楽しんでいただけます。また、温泉街の店舗でも萩焼にまつわる企画を展開するなど、萩焼の魅力を幅広くお楽しみいただける内容となっております。秋の温泉街をそぞろ歩きながら深川萩の魅力をご堪能いただけるよう、温泉街のスタッフ皆でお迎えいたします。



玉仙閣 (サテライト会場)

会期：2025年10月3日(金)～11月3日(月)
時間：11:00～17:00

玉仙閣の開放的なロビー空間では、田原崇雄氏による「T」シリーズを特別展示いたします。日常使いにも最適な、新しい萩焼のスタイルをご覧ください。



※休館日は玉仙閣公式 HP にてご確認ください

まちの番台 (Shop & Information)

会期：2025年10月3日(金)～11月3日(月)
時間：11:00～17:00
休：月・火(祝日以外)

「うつわの秋 2025」開催期間中、長門湯本温泉の中心に新たに誕生した地域拠点「まちの番台」を会場のひとつとして、深川萩の魅力紹介とイベントの楽しみ方のガイド展示を実施いたします。



ながとゆもと おんせん 長門湯本温泉

長門湯本温泉は、山口県でもっとも古い約600年の歴史をもつ山間の温泉郷。3年間に及ぶリニューアルを終えた温泉街には、川沿いにのびる飛び石や川床、街中を照らす幻想的なライトアップのほか、長門焼き鳥や瓦そば、クラフトビール醸造所など、楽しめる場所がたくさんです。うつわの秋の観覧とあわせて是非そぞろ歩きを満喫してください。



INSTAGRAM



HOMEPAGE

おんとう

恩湯 (メイン会場)

会期：2025年10月3日(金)～10月14日(火)
時間：10:30～17:30 (会期中無休)
長門湯本温泉を象徴する「恩湯」では、メイン会場として深川萩五窯八作家の作品展示を行います。



おとずれ堂 (サテライト会場)

会期：2025年10月3日(金)～11月3日(月)
時間：11:00～18:00
休：火・水・木

竹林の階段横に佇む古民家ギャラリーでは、茶陶やオブジェ等、より作家性の強い作品を展示します。



cafe&pottery 音 (サテライト会場)

会期：2025年10月3日(金)～11月3日(月)
時間：10:00～16:00
休：水・木

音信川沿いのカフェギャラリーでは、カップやお皿など、より日常に取り入れやすい作品の展示、販売を行います。



大谷山荘 (サテライト会場)

会期：2025年10月3日(金)～11月3日(月)
時間：8:00～11:30 / 13:30～19:00 (平日)
8:00～19:00 (土・日・祝)
大谷山荘2階お土産処「山茶花」内ギャラリーにて、深川萩作家の酒器を展示します。



※休館日は大谷山荘公式 HP にてご確認ください

三ノ瀬公会堂

地域の皆様のご好意により会場をお借りしています。車の駐車など会場のルールの遵守をお願いします。



googlemap

関連イベント

「うつわの秋」の期間中、様々な関連イベントを開催いたします



mitsuwa in 橋の上のレストラン

山口県を代表するガストロノミーレストラン「mitsuwa」が「橋の上のレストラン」に登場。自家農園で育てた野菜や、山口ならではの食材をふんだんに取り入れた珠玉のコースを、絶景の橋の上という特別な舞台でお楽しみいただける貴重な機会です。

日程：2025年10月4日(土)・5日(日)

時間：①12時～②17時～

会場：長門湯本温泉 ノノ瀬橋 (天候によっては会場が変更になる場合があります)

定員：各回8名まで(予約制)

料金：18,000円(ペアリング付き)

※ペアリングはアルコール、ノンアルコールをお選びいただけます



うつわの秋 x 山村豊華園

まちの番台では、深川萩作家と地域の花屋「山村豊華園」のコラボレーション企画として、多肉植物の鉢植え作品を展示・販売いたします。個性豊かな多肉植物を深川萩のうつわに丁寧に寄せ植えすることで、現代のライフスタイルに寄り添う「生きた工芸」を提案いたします。

期間：2025年10月3日(金)～11月3日(月)

会場：まちの番台

時間：11:00～17:00

休：月・火(祝日以外) ※全て1点ものとなります。売り切れの際はご容赦ください

橋の上のレストランや関連企画のご予約は
下記の特設サイトよりお申し込み下さい



うつわの秋特設サイト



ギャラリートーク

うつわの秋特別企画を記念し、花司/flower artist 田中孝幸氏と萩焼深川窯の作家・田原崇雄(田原陶兵衛衛)によるギャラリートークを開催いたします。

日時：2025年10月11日(土)16:30～

会場：cafe & pottery 音

受付：事前予約制

定員：10名

料金：1,000円(ドリンク付)



深川窯訪問ツアー

山口県の指定文化財でもある「萩焼深川古窯跡群」の本窯跡の見学や田原陶兵衛工場のギャラリー訪問、深川萩のうつわを使用した温泉街の川床での野点体験等、深川萩の歴史と文化を楽しんでいただける、深川窯訪問ツアーを開催いたします。

日時：期間中毎週土曜日10:00～

集合：SOIL Nagatoyumoto

受付：事前予約制(定員4名)

料金：5,000円 ※自転車でのご案内となります



金継ぎ体験

うつわの秋開催期間の「まちの番台」では、金継ぎがはじめてという方でも気軽に参加していただけるよう、2～3時間程度で修復する金継ぎを体験していただけます。

日程：10月4日(土)・10月26日(日)

時間：13:00～16:00(3時間程度)

会場：まちの番台

受付：事前予約制(定員5名程度)

金額：6,000円(飲み物・茶菓子付)



特製プリン

田原崇雄氏による T シリーズのうつわで、長門の特製プリンをお召し上がりいただけます。リニューアルした玉仙閣のロビー空間にて、深川萩を楽しんでいただけます。

期間：10月3日～11月3日(休館日休)

時間：11:00～17:00

場所：玉仙閣ロビー



野点体験

深川萩のお茶碗であけぼのカフェのどらやきと共に長門湯本温泉のお気に入りの場所での野点を体験していただける茶箱セットをご用意しております。

期間：10月3日～11月3日

時間：11:00～16:00

場所：あけぼのカフェ

料金：1,000円(カフェにて直接お申し込みください)

※あけぼのカフェに展示している萩焼も手に取ってご覧いただけます



限定カクテル

十三代田原陶兵衛が手がけるうつわで、長門市初のクラフトジン「青舞(オーブ)」を使った「うつわの秋」限定ドリンクをお楽しみいただけます。

期間：10月3日～11月3日(月曜休)

時間：18:00～24:00

場所：THE BAR NAGATO



飲み比べ

深川萩3名の作家の手による個性あるピアマグに、それぞれと合わせた長門湯本で醸造するクラフトビールを注いだ、特別な飲み比べセットをご提供します。

※料金や提供時間は Instagram

@sanrokuroku_beer にてご確認ください。



うつわの菓子箱

公式グッズ

今年も、温泉街の焼き菓子店 AINONE が作るオリジナルクッキー缶「うつわの菓子箱」を販売します。天然酵母を使った、素材と製法にこだわる焼き菓子で、深川萩をイメージした抹茶味の茶碗型のクッキーを楽しんでいただけます。お気軽にお土産としてお持ち帰りいただけるよう、菓子箱と個包装をご用意しております。

期間：10月3日～11月3日

場所：恩湯会場・まちの番台・cafe&pottery 音・おとずれ堂他

時間：店舗営業時間

料金：菓子箱/2,500円(税込)・個包装450円(税込)

※個包装の販売はcafe&pottery 音のみとなります。

※数に限りがございますので売り切れの場合はご容赦ください。

こちらの商品は大変人気のため、オンラインにて事前予約を受け付けています。(数量限定・会場でのお渡しのみ)
詳しくは右記の QR コードより HP をご確認ください→



うつわの秋

特設サイト <https://fukawahagi.jp/utsuwanoaki2025/>

主催：萩焼深川窯振興協議会、長門湯本温泉まち株式会社